



TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2625回 例会

プログラム

新入会員卓話

No. 2480 8月6日(木)

次週以降の予定

8月13日(木) 創立記念(夜間)

8月20日(木) タイヤの世界パートII

8月27日(木) 地区大会準備会議

第2624回 例会報告

2009年 7月30日(木)

会長挨拶・報告



本年度がスタートして、5回目の例会、もう7月が終わろうとしております。相変わらず天候不順の夏が続いており農産物の影響が心配です。

先週末ロータリークラブを代表して三品会員の第一興産様の創業60周年の祝賀会に出席して参りました。大変立派な式で感心を致しました。改めておめでとうございます。

私事ですが、先日の日曜日、岩見沢市で開催のフォークジャンボリーを待って。太田裕美、ガロ、フォークレセイダースの加藤和彦、南こうせつ等の出演で松山千春も1曲歌いました。当クラブから西村会員、佐藤茂会員、安達会員、山口会員も来られていました。私は仕事の関係で遅れて、早く帰りだったのですが時々雨の残念な天候でしたが予想以上に楽しいコンサートでした。

来年は多くのメンバーをお誘いしたいと思えます。

さて、米山記念奨学会より昨年の実績が送られて参りました。それによりますと滝川ロータリークラブは73クラブ中、特別寄付の部で6位、総額の部で4位、過去の累計の部でも第4位でありました。本年も寄付の程よろしくお願いいたします。

伝達式を行います前年度の寄付分です
・ポールハリスフェロになられました、宮崎英彰会員
・米山功労者第1回 藤井照也会員

幹事報告



1. 小平RCより活動計画書、芦別RCより例会プログラムが届いております。

2. ガバナー事務所より、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動、国連支援募金依頼が参りました。募金箱の用意しておりますので、ご協力お願いいたします。

3. 先週も申し上げましたが、上期会費の納入のお願いをいたします。お忘れの方は、ご確認の上今日・明日中に納めていただきますようお願いいたします。

4. FAXでのご案内しておりますとおり来週8月6日(木)午後6時30分よりスエヒロにおきまして、第8回定例理事会を開催いたします。10月に担当例会をお持ちの各委員長さんは、事業実施計画書の提出を8月4日までに事務局へお願いいたします。

先週のプログラム

《プログラム委員会担当例会》

ゲスト卓話



松橋プログラム委員長挨拶

本日は講師に現在札幌に在住され、新十津川にご縁が有る中村辰章様をお招きし、日本郵船で35年にわたり世界中を周り見聞きた、いろいろなエピソードなどを題しまして「世界を回って」と言う事でお話をしていただくと思って居ります。

ここで中村辰章様のプロフィールをご紹介申し上げます。

昭和15年8月中国南京市生まれ、戦時中神戸市に引揚げ神戸大学卒業後日本郵船株式会社に35年勤務されました。10年前に定年退職され、以後新十津川町に月に2~3度来町されて居られます。

家族は奥さんと二人住まいで子供二人は独立されて居ります、それでは中村辰章様よろしくお願いいたします。

《世界を回って》



中村辰章様

初めまして、何か場違いな所にお呼び頂いたような気がします。退職後に関東から北海道札幌市に移住してきまして7、8年しか経っておりませんが、新十津川にもう80年くらいになる旧家があり月に1、2回こちらに来ております。こちらにくると広々としているし、空気が澄んでいるので良いところだと楽しみに来ております。以前は、湘南藤沢に住んでいたせいかわせいの冬の厳しさ(灯油消費量の多さ、4輪駆動ではないと不安な雪道)にびっくりしました。

私の父は船客営業をしております、私は昭和15年に中国の南京で生まれ戦時中に母と二人で神戸に引き揚げてきたのですが、神戸は造船所、港湾、神戸製鋼、高射砲陣地があり空襲が激しく右往左往しました。母は勉学の為に米国からきておりまして戦後に母の兄が駐留軍で来日し食料不足の中、PXのいろんなものを持ってきてくれ、助けられました。それから20年余りを過ごし、神戸大学を卒業後、国際海上輸送の資格を取得し男爵薯で名の知れた川田男爵が昭和18年に立ち上げたNYKライン、日本郵船会社に入社しました。神戸は札幌に次いで全国2番目に公園の広い良い所です、明石原人の出土、有馬温泉、楠公さん、神戸肉など名物がたくさんありますし、全国唯一の神戸市立空港がありゲートを出てからモノレールに乗り15分で市内中心に行ける便利な所です。海と山に囲まれ、土地が狭いので山を削ってポートアイランド等を作ったりして産業誘致をし、大きくなってきました。

その後転勤を繰り返し就職35年のうち延7年は、更に上級資格を取る為に海上勤務をしまして紛争地やパナマ、キール、五大湖の運河も行き航海距離は150万キロ、地球を40周したことになります。運んだものは野菜や岩塩からラワン丸太(直径1m)、動物、ヘリや兵器、ロケット末端の姿勢制御用子ロケット、核燃料など当時のキャッチフレーズ「ラーメンから原子力まで」とおり様々なものを運びました。コンテナの輸送については、米西海岸のマトソン社に習い日本で初めて昭和44年に運び始め、慣れないドライバーが横転する事故が多発していました。最初は8フィート、それから20フッター、8フィート半の大きいものと増えて鉄道輸送などで困難なところが多々ありました。私は数千トンから数十万トンまでの外航船で世界を回った経験を買われ、各地での僚船の事故処置を行なっていました。一度、ペルシャ湾で外国籍社船が原油を積荷中にガス出口のバルブを閉めてしまいパンクし亀裂の修繕、清掃を行ないました。ご存知昭和40年室蘭のヘインバード号の事故から1ヵ月後に入港した際にもまだ煙が出ていました。タンカーと言う船は一触即発怖い船でした。

あちこち行きましたが、欧米の港というのは古くからの歴史があり、狭く出入が大変でした。各地に特異な海気候がありモンスーンのインド洋、ハリケーンのカリブ海など、その季節に当たるとプロですから船酔いはしませんが食事は立ち食い、後は寝ているか当直に立つかだけでした。五大湖の運河は面白いところで、当時は日本人がほとんどいませんでしたが、ワンレーンと狭く全て自分でやらなければならない、さらにフランス系の人間が多く英仏会話がほとんどでした。入口のモントリオールからスペリオールまでは走りっぱなしで一週間かかり、交替で当直をしていました。メキシコの国境とカナダの国境は敵国から内航を守るために内陸に運河を設けており、第二次世界大戦前にはパナマのゲートも日本が破壊するのではないかと鎖を取り付けたそうです。アメリカは日本と違い、陸上の湖・河川を陸軍が管理しているので、管理は立派なものです。

船上で手のかかったことはトップ以外のほとんどが外国人で皆異なった食生活の為、その食料調達が大変でした。すき焼きをしようにも白菜は香港でしか手に入らずキャベツで代用したり、クリスマスには七面鳥のほか仔豚を用意し丸焼きにしたり(偉い人間が貴重な目玉を食べる習慣があるとかで、目をつぶって飲み込みました)、正月用食料はシンガポールまでで事前に調達しなければならぬなどいろいろありました。重労働が多かったので陸上よりもいいものを食べていたように記憶しています。

なして一週間かかり、交替で当直をしていました。メキシコの国境とカナダの国境は敵国から内航を守るために内陸に運河を設けており、第二次世界大戦前にはパナマのゲートも日本が破壊するのではないかと鎖を取り付けたそうです。アメリカは日本と違い、陸上の湖・河川を陸軍が管理しているので、管理は立派なものです。

ニコニコBOX

篠島 弘会員
石黒会員の還暦を祝う会で景品をいただいて。
藤井 照也会員
米山功労者として表彰されて。
三品 優次会員
当社はお陰様で創業60周年を迎えました。
皆出席をいただいて。
坂田 秀昭会員
釣同好会総会にて会長に推薦されて、その他。
佐伯 敏和会員
活動計画書の訂正があった事をお詫びいたします。
中枝 穎司会員
誕生祝をいただいて。
富樫 悟会員
先週の担当例会を終えて。
松橋 和博会員
担当例会を終えて。

会長/川口 義弘
幹事/竹田 行宏
編集/クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM 0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL (0125) 22-3344
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。